

# 新しい静岡県立図書館へ望むこと 市町立図書館等への アンケート調査報告書

県立中央図書館の大切な役割の一つに、市町立図書館等の支援があります。県立中央図書館による支援が、県内の市町立図書館等全体のサービスレベルに影響します。

一方で、県立中央図書館は一般利用者へのサービスも行うことから、県立と市町立等とでどのように役割分担し、連携・協力しながら適切に棲み分けていくかなどの課題もあります。例えば、現在県立中央図書館は、小説類については市町立図書館に委ね基本的に所蔵しない、という市町立との役割分担を行っています。

一般利用者には見えづらいこれらの観点から、市町立図書館等が県立図書館に何を望んでいるかを知るためのアンケートを行いました。

アンケート結果は、新県立中央図書館建設に向けた今後の議論のための材料としていただければ幸いです。

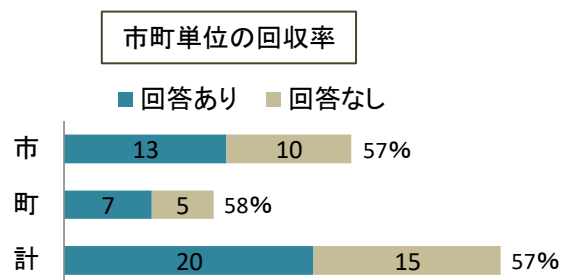
## アンケート調査期間・対象

調査期間：2020年3月1日～2020年4月30日

アンケートは、静岡県内の全市町、その他大学等の図書館、計**125館**を対象に行いました。**全23市(83館)**のうち**13市(23館)**、**全12町(12館)**のうち**7町(7館)**、**大学等30館**のうち**3館**の計**33館**からの回答をいただきました。(複数の回答を寄せた館があったため、**回答数は37**で、全てをカウントしました)回収率は、**市町単位**では**57%**(下表)、**館単位**では33館/125館=**26%**でした。

アンケート依頼 対象市町	回答あり	回収率
市 23 市(83館)	13 市(23館)	57%(28%)
町 12 町(12館)	7 町(7館)	58%(58%)
計 35 市町(95館)	20 市町(30館)	57%(32%)

※ この表には、大学等の図書館は含まない。



### 新しい静岡県立図書館へ望むこと 市町立図書館等へのアンケート調査報告書

2020年5月29日発行

発行者 新たな静岡県立図書館を望む会

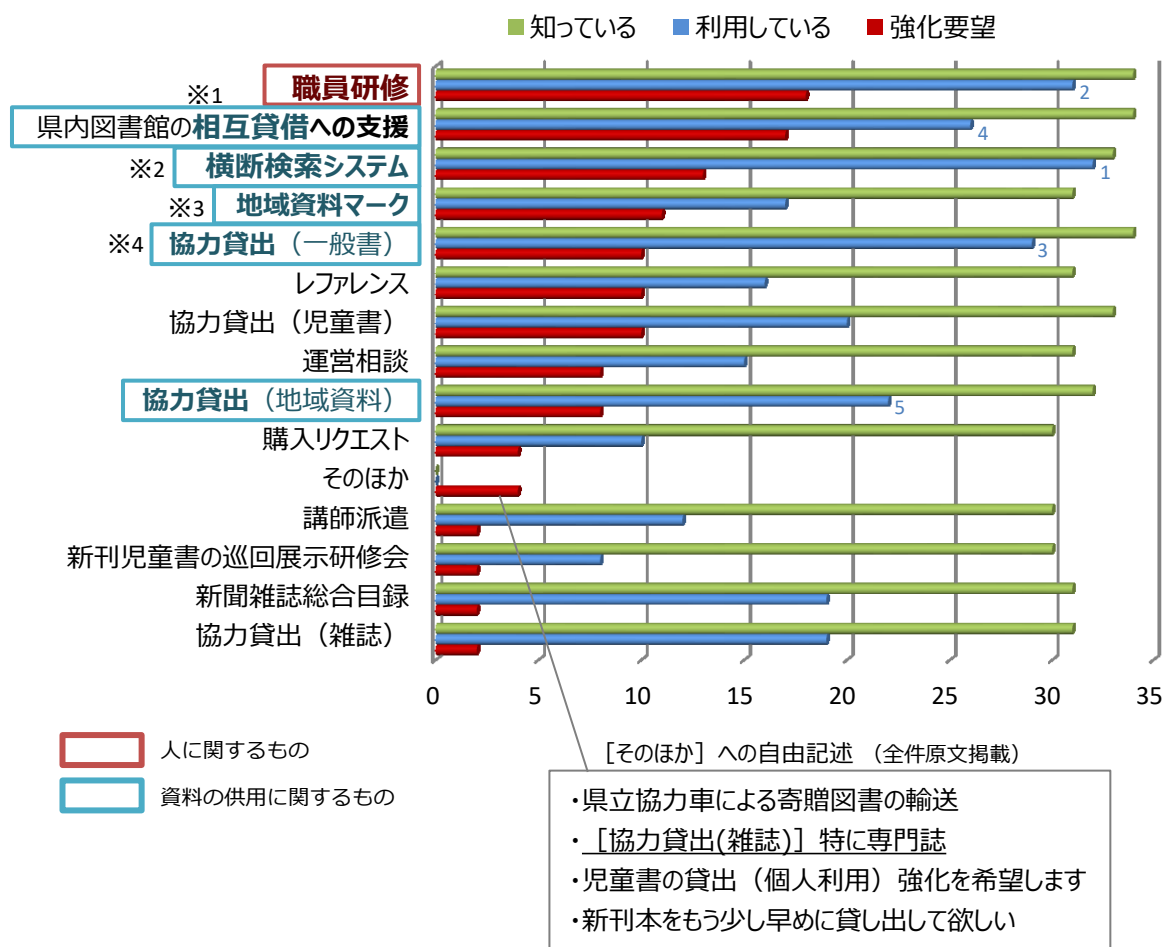
代表 満井 義政

住所 静岡市葵区瀬名3-16-45 事務局長 田中文雄

電話 080-6910-9434(静岡図書館友の会事務局)

# 問 1. 現在の県立図書館の市町支援サービス利用状況

※ 以降、主な人的事項を茶色、システムの事項を青色、資料的な事項を緑色の文字で表記しています。



- ※1 相互貸借とは、リクエストされた資料が自館にない場合、県内で所蔵している図書館から借り受けて利用者に提供するサービス。県立図書館の主要なサービスの一つ
- ※2 横断検索システムとは、県内の連携している複数の図書館が所蔵する資料を、同時に検索することができるシステム
- ※3 地域資料マーク 一般に流通していないため民間では作成されない地域資料の書誌データ（書名・著者など）を、県立中央図書館が作成し県内図書館等に提供しているが、このような地域資料の書誌データを「地域資料マーク」と呼んでいる。マークは、MARC=MACHINE-Readable Cataloging = 機械可読目録の略
- ※4 協力貸出とは、市町立図書館において、リクエストされた資料が自館にない場合、その資料を県立図書館から借り受けて利用者に提供すること。資料の運搬は県の協力車によって行われる。県立図書館の最も基本的な事業

## 【分析・考察】

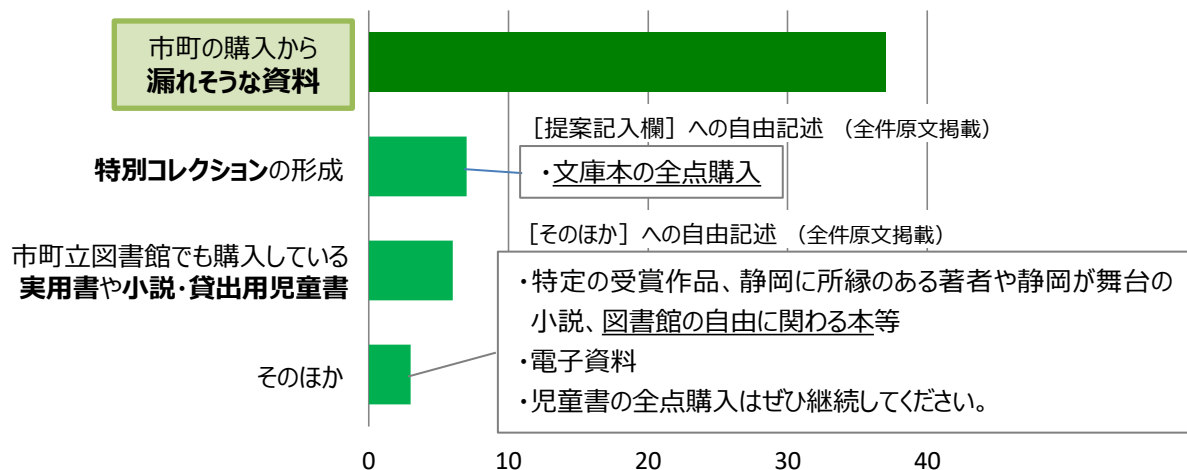
① 実際に『利用している』の2位と『強化要望』の1位は**職員研修**だった。

市町立図書館が**人材育成の必要性**を強く感じていることの表れと考えられる。これ以外ではこれら設問のトップ5に、**相互貸借・横断検索システム・地域資料マーク・協力貸出(一般書・地域資料)**が入っている。いずれも資料の共用に関するもので、**県内の図書館を一体的に運用して、限られた資源をいかに有効に活用するか**ということに、各館が強い関心を持っていることが分かる。運営を担う人材と所蔵資料の有効活用、どちらも図書館運営の基本中の基本で、そうした**基本に対する支援**が求められている。

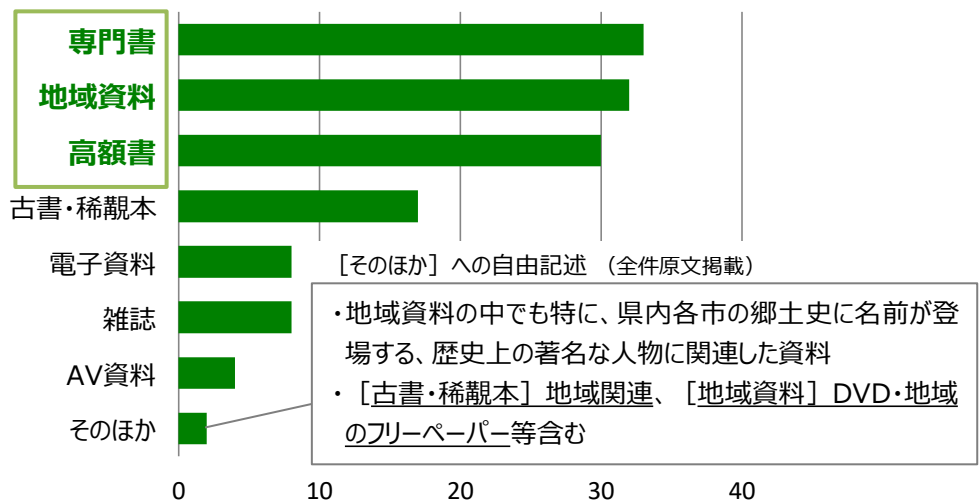
② **専門雑誌の協力貸出**を強化してほしいという要望があった。

利用が少ない（それゆえ市町立図書館では蔵書になりにくい）**雑誌の収集を県立図書館が中心的に担えば**、市町立図書館の負担は減り、かつサービス水準も向上する、ということだと解される。

## 問2. 新県立図書館に期待する資料収集分野（複数回答可）



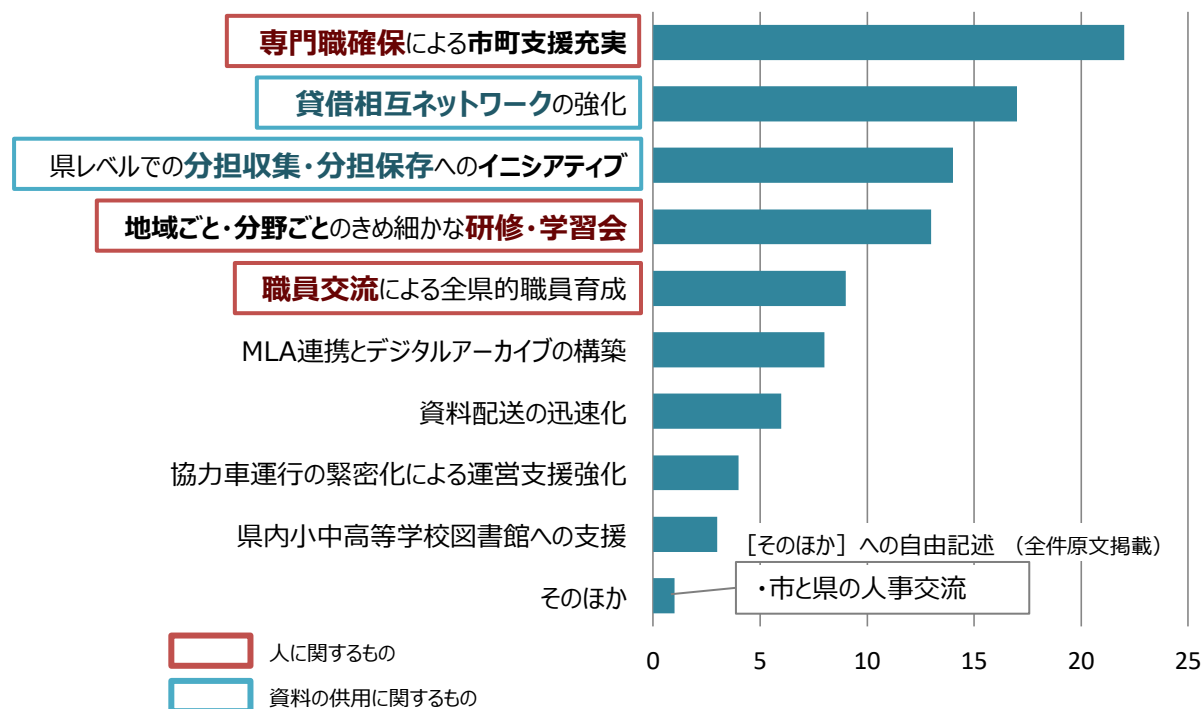
### 市町の購入から漏れそう資料



#### 【分析・考察】

- ① 県立に期待する資料収集は「市町の購入から漏れそう資料」が突出している。(上のグラフ)
- ② そのなかで、**専門書**と**地域資料**、**高額書**の3つへの要望が多い。(下のグラフ)  
4位の「古書・稀覯本」も、地域関連のものを希望する自由記入があり、**主には地域関係のもの**と思われる。問1-②(専門雑誌)と同じく、こうした**市町立図書館と被らない専門的資料の収集・提供**が求められていることを示している。
- ③ 「地域資料」では、**DVD**や**地域のフリーペーパー**などの収集をしてほしい旨の意見があった。**映像や音源、自主製作資料**などいわゆる非図書資料は地域を知るためには大変重要であるが、本のように流通市場が整っていないこともあり、系統だった収集にも整理・保存にも大変手間がかかる。**市町立図書館では十分に収集できないことが多い**。県立図書館の役割が期待されている。
- ④ 収集を期待するものとして「**図書館の自由に関わる本**」という記入があった。  
これも問1-②(専門雑誌)と同じで、県内で**どこか1館にあれば安心**できる性質の資料といえる。**県立図書館の役割**として、図書館の自由関連など**図書館運営にかかわる資料**を重点的に集めることで、市町立図書館を支援することが求められている。

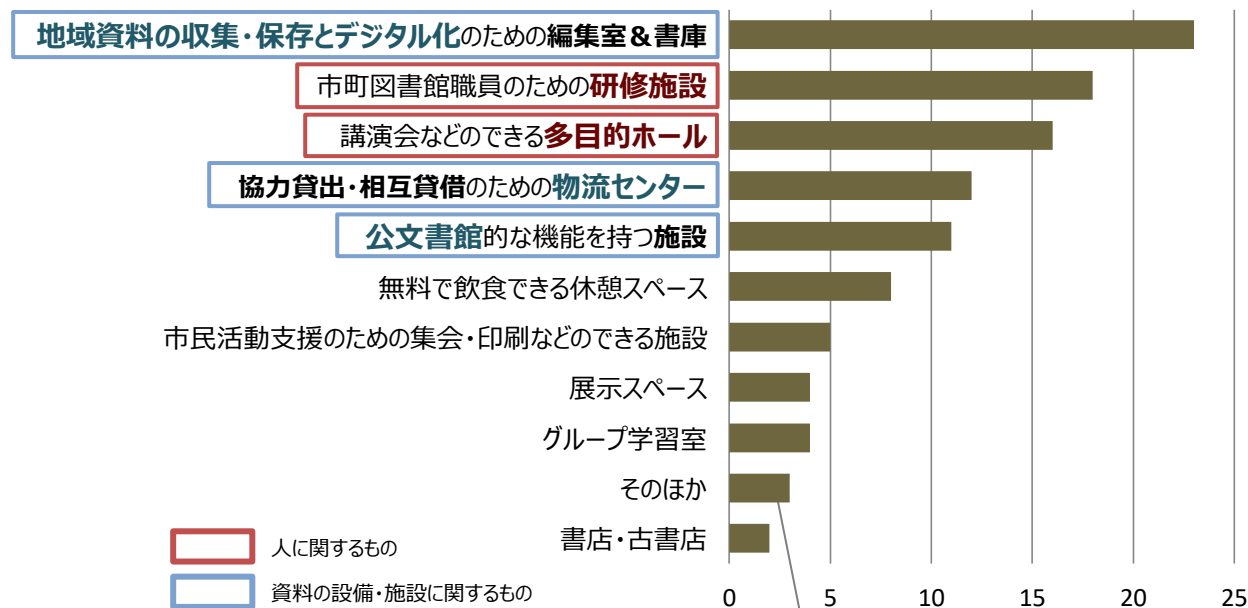
### 問3. 県立図書館と県内図書館との連携や協働で特に力を入れてほしい分野 (3つまで)



#### 【分析・考察】

- ① 『特に力を入れてほしい分野』のトップは「**専門職確保(司書)による市町支援充実**」であった。問1『強化要望』の1位が**職員研修**であったことと同様に、ここでも**人材の充実**に対して最も大きな期待が示された。4・5位にも市町立図書館の職員に対する**研修・学習会、職員交流**(全県的)の人的支援が入っている。県立図書館で**専門職を採用・育成**すれば、**より高度なサービス**で市町立図書館を支援することができるし、またその力で市町立図書館の**職員の育成**を支援することもできる。**人による支援&人を育てる支援**は市町立図書館が求める**最重要事項**と捉えることができる。
- ② 2・3位の**相互貸借ネットワーク、分担収集・分担保存**などへの要望も多かった。これは今後予測される**人口減少**とそれに伴う**予算縮減**の時代に、**サービスレベルを落とさない**ためのすぐれた戦略であり、県立図書館にはそうした大局的な政策を推進することが期待されている。

## 問4. 新県立図書館および知の拠点に必要だと思う施設・設備（3つまで）



〔その他〕への自由記述（全件原文掲載）

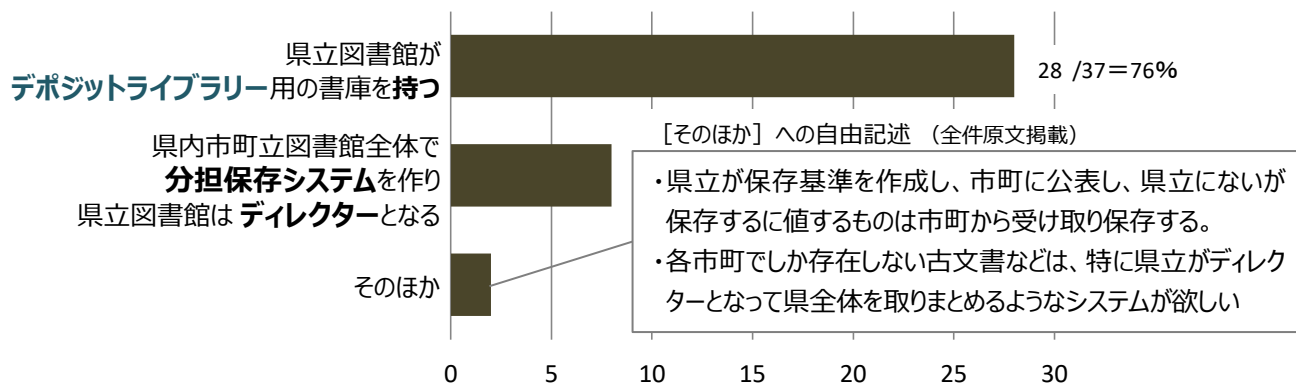
- ・ [研修施設] (を選択した理由) 交通の便、人が集まる施設という点から
- ・ [編集室&書庫] [物流センター] 東静岡駅の場所でもよいと思う。
- ・ 地域資料の収集、保存は図書館の使命であるが経年劣化の防止や検索機能に優れたデジタル化は進んでいない。県でデジタル化に関する基準や編集方法を指導していただける施設があれば資料の保存、活用が進むと思われる。
- ・ 屋外テラスやちょっとした公園等、内と外をつなげるもの

### 【分析・考察】

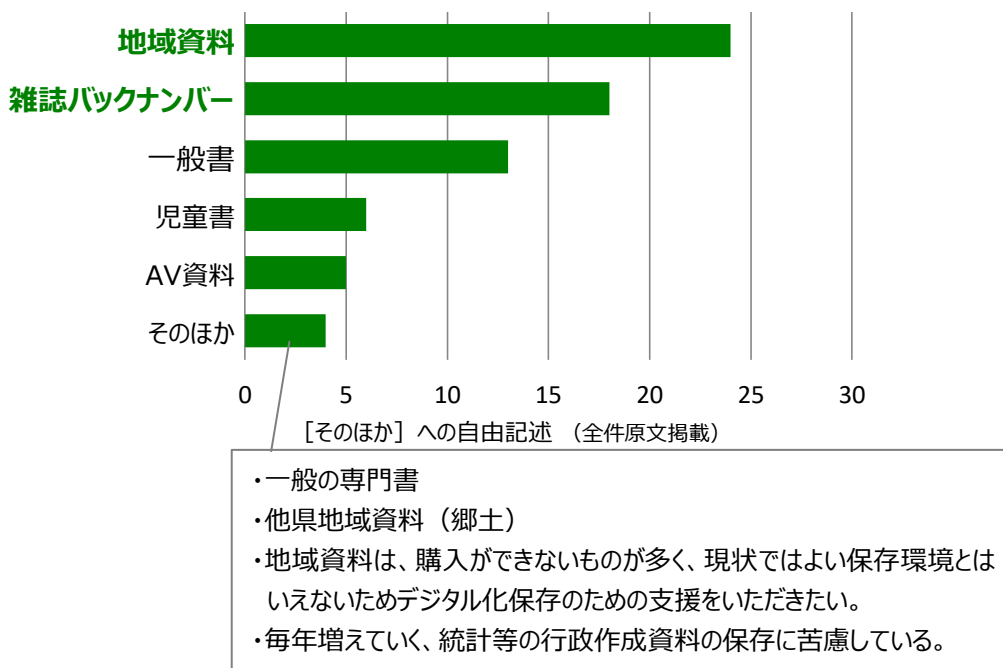
- ① [地域資料の収集・保存とデジタル化のための編集室&書庫] が最も多くの支持を集めた。  
劣化防止や検索機能に優れたデジタル化が地域資料には特に有効と思われるし、今回のコロナ対応を考えると、今後リモートサービスも重要になると予測される。このような新しいサービスに対応した新しい施設・設備を備えることが、新たな県立図書館にふさわしいと考えられる。
- ② 次の2・3位は職員研修、多目的ホールなどの人に関わるもの、4・5位が協力貸出等のための物流センター、公文書館的施設などの資料に関わるものと続く。やはり人と資料への支援に関わる施設が重視されている。
- ③ 自由記述には、「内と外をつなぐ屋外テラスやちょっとした公園」というものがあつた。  
施設の雰囲気や左右するこのような要素も気にかけている。
- ④ [飲食できる休憩スペース] や [市民活動支援のための施設] など図書館の基本的機能以外の施設については、いずれもランク外となつた。これはアンケート調査対象が図書館(職員)であり、職務に関わるものが関心の中心になつたためと考えられる。

## 問5. 資料保存 及び デポジット・ライブラリー<sup>※</sup>についての希望

※ **デポジット・ライブラリー**（共同保存図書館）とは、設置主体を異にする複数の図書館が、それぞれで所蔵が困難になった資料を一ヶ所に集め、共同で保存する仕組み。書誌・所蔵情報の管理と提供を行い、物流システムを保障して、各図書館の求めに応じて利用者が必要とする資料を貸し出す保存センター（NPO法人共同保存図書館・多摩HPより）



### 特に保存に苦慮している県立図書館の支援が欲しい分野（複数回答可）



#### 【分析・考察】

- ① [県立が**デポジットライブラリー**用の書庫を持つ] が**大きな支持**(76%)を集めた。(上のグラフ)
- ② 『保存に苦慮している支援が欲しい分野』としては、**地域資料**がトップだった。  
地域資料の保存には**専門知識**や**保存技術・特別書庫**などが必要なため、**小規模館では対応しきれない**。市町立図書館からの要望が多いのはそのため、県立図書館の支援策が特に効果的な分野と思われる。
- ③ 次が**雑誌バックナンバー**で、これは**場所をとる**し、**創刊・廃刊などの変化が激しい**ので、どこも保存には苦労しているようだ。しかし**そこにしか載っていない情報**も多いので、市町立図書館としても**安易に廃棄するのはためらわれ**、県立図書館の集中保存要望になったと思われる。



## 問6. そのほか、新しい県立図書館に望むこと (自由記述)

※基本的に全文原文のまま掲載しましたが、分類上またがる記述は切り分け、語尾の修正等があります。

### 新県立に求めること

- 新県立図書館の建設計画については、候補地以外は具体的な情報が提供されていない状況であるため詳細な内容が開示された上で必要なことは要望していきたい。「県民のための図書館」であるということまずは第一に考慮していただき、県民に親しまれる図書館となることを望む。その上で市町図書館へのさらなるサポート充実を図っていただければありがたい。
- 県立図書館は静岡県図書館行政の旗艦館であり、県全体の図書館行政を引っ張っていく担い手である。組織は別のもので、大きく図書館というらえ方から見れば、一体的なものなので蔵書構成を意識して、資料を収集・保存しサービスを提供したらどうか。
- 指定管理にしないで、県の直営のまま運営してほしい。
- 現在の県立中央図書館で使用するのことができるホールや会議室などの設備を新図書館においても提供いただききたいです。
- 新館に向け今後業務も多様で高度化するので、専門職員の早期の採用と、その際の年齢のバランスへの配慮が必要である。

### 市町等との役割分担・連携

- 全国的な利用者減少に伴い、行政サイドからは資料費も減少を示唆されている。資料収集と資料費の減少という相反する課題を解決するため、県レベルでの分担収集、分担保存を行い協力車による搬送をお願いしたい。
- 協力車による県内市町村間の相互貸借支援は、送料がかからず利用することができ、大変有難く思っています。今後もサービスの継続を強く希望します。
- 専門性が高い学術・研究書は県立。専門性が低い小説などは市立などというように、サービスを提供していくうえで、干渉ではなく、連携を図っていく形、システムを作れないだろうか。(資料分担収集・職員交流・サービスの融合など)
- 行政組織が違うので、自治体の独立性という観点からむづかしい面が多いかと思うが、「図書館行政」という形で全体的に考えれば、(とくに静岡市では)総論＝県立、各論＝市立といった考え方はできないか。

### 市町等への支援

- 何より経験を積んだ専門職員による市町図書館支援については、新図書館においても継続してご提供いただききたいです。
- 市町の図書館を援助し、リードすることができる職員により運営される図書館であってほしい。
- 県立図書館には県内図書館の支援を充実していただきたいと思えます。現在も存在している市町支援サービスの中には利用の仕方が不明なものもあり、利便性が良くなればもっと利用できるのにと感じることがあります。(例:「新刊リクエスト」の依頼の方法に不明な点が多く現在は利用していません。おうだん君ポータルに専用のフォーマットがあれば依頼が容易になるのではと思います)
- 強力な市町支援で県民サービスの向上を図ってほしい。専門職員による運営相談や図書館サービスの向上に役立つ研修の企画など。
- 学校図書館、学校司書(司書教諭)に対する支援

### 資料及びそれを活かすサービス

- 電子資料の導入と全県民への貸出支援体制の構築
- 豊富な蔵書構成で県民の読書要求に応えてほしい。協力貸出の充実と迅速化。
- 移転しても、研究書等、現在の収集レベルを維持してもらいたい。
- 世界遺産の富士山や三保等のコーナーを作って、それらに関する資料を網羅してほしい。
- 乳幼児に対するさらなる読書推進
  - ・地域産業の支援や関係機関との連携
  - ・在住外国人や障害者が使いやすい環境整備
  - ・デジタルアーカイブの充実
  - ・WEB上での情報発信
- 市町図書館で購入しないような本をたくさん購入してほしい。
- 予想される小説類への要望に応え、かつ、市町図書館とも競合しにくく、コレクションとしても意味のある多様なジャンルの文庫本の全点収集(絶版も含め)を県立が行ってはどうか。

### 地域格差緩和

- 伊豆地域は県立への交通が不便なので、もっと近場(三島や修善寺)での研修が欲しい。
- 利用者から、「県立図書館は県内一か所であるにも関わらず、なぜ県立中央図書館なのか」と質問を受けることがあります。県中部地区在住の県民は県立図書館を気軽に利用、活用できますが、西部地区在住県民にとっては時間も(貸出、返却)、交通費も(急な場合)負担がかかります。県民のサービス格差解消のために、利用者数の多い浜松市内への分館設置が望ましいと考えます。

# 新しい静岡県立図書館へ望むこと

## 市町立図書館等へのアンケート調査結果 概要

※ 主な人的事項を茶色、システムの事項を青色、資料的な事項を緑色の文字で表記しています。

### ■ 支援サービス

👉 求められているのは **人材育成** と **県内図書館を一体的に運用するシステム**

- ① **職員研修・専門職確保・職員交流**などの**人材の充実・育成**
- ② **限られた資源を有効に活用**するため、**相互貸借・協力貸出・横断検索システム**などの**県内図書館を一体的に運用するサービスシステム**の充実

大きく分けて、この2つの支援が求められている。

### ■ 資料

👉 期待されているのは、**市町立にできない資料収集・保存**

- ① 県立に収集を期待するのは「**市町の購入から漏れそうな資料**」が圧倒的で、その中で希望が多かったのは**専門書・地域資料・高額書**だった。
- ② 市町立図書館が保存に苦慮しているのは、知識・技術・設備が必要な**地域資料**や、場所をとる**雑誌バックナンバー**で、これらについて**県立図書館による集中保存**が期待されている。
- ③ 各問で地域資料関係の項目が高い順位に登場しており、市町等が**地域資料**の収集・保存に重きを置いていると同時に、**困難を抱えている**ことがうかがえる。

### ■ 新県立図書館に 求める施設

👉 欲しいのは **古いもののデジタル化設備、デポジットライブラリー、研修施設**など

- ① 求める施設は、**地域資料デジタル化のための設備**がトップで、それに**研修施設、多目的ホール**（人的施設）、**協力貸出等のための物流センター、公文書館的施設**（資料施設）と続いた。
- ② 県立が**デポジットライブラリー**（共同保存図書館）を持つことを**76%**が支持している。

### ■ 自由記述

- ① **全県一体的なサービスシステム**の充実、経験を積んだ**専門職員**による強力なサポートを求めるものが多かった。
- ② 分野・対象・地域などに関する希望も出てきた
  - ・様々な主題へのアプローチ（富士山・三保・地域産業・デジタルアーカイブ・WEB活用など）
  - ・図書館利用への**障害をなくす政策**（乳幼児・在住外国人・障害者への対応）
  - ・**地域格差解消**の手だてを求める（伊豆地域や西部地域から）
- ③ 従来県立は小説類を所蔵してこなかったが、今後要望が予想されることから、市町立とも競合しにくく、コレクションとしても意味のある「**文庫本全点収集**」の提案があった。